

## 【書式例 5-3】

## 令和元年度 指定管理者点検結果

施設名	玉野市児童発達支援センター
所在地	玉野市用吉1186-1
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住所 玉野市
指定期間	平成30年 4月 1日 ~ 令和5年 3月31日 ( 5年間)
担当部課	健康福祉部 福祉政策課 電話 0863-32-5556 E-mail <a href="mailto:fukushi@city.tamano.lg.jp">fukushi@city.tamano.lg.jp</a>

評価内容の総括	総合評価
施設管理、運営等の実施状況等、良好に指定管理が行われている。 医療ケア児についても、看護師等資格所持者を配置し積極的に対応してもらえるよう期待したい。	A

## ■ 「総合評価」の評価基準

S (優 良) 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。

A (良 好) 次の3項目の評価結果が全てA以上である。

B (課題含) 次の3項目の評価結果にBが含まれている。

C (要改善) 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p><b>【適切な施設管理の履行】</b> 協定書に従い、適切に施設管理を行っている。</p> <p><b>【法令等の遵守】</b> 法令を順守して、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p><b>【安全性の確保】</b> 職員に対して安全意識の教育を行い、環境整備にも努めている。</p> <p><b>【財産の適切な管理】</b> 遊具等の設備投資は必要に応じて行っている。</p> <p><b>【利用状況】</b> 定員は充足している。</p> <p><b>【コスト削減への方策】</b> 職員教育を継続的に行っている。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<p>様々な療育活動を等計画的に行い、外部専門機関等との研修や各会に参加し、ニーズ把握に努め、サービス向上の取り組みもできている。</p>	A
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
<p>収支状況は安定的である。</p>	A

#### ■「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

## ＜事業報告書への記載項目＞

事業報告書は、次の例を参考に作成すること。なお、事業報告書はホームページ等により市民に公開しますので、各項目について、適宜図表などを作成し、分かりやすく記載すること。

### I 業務の実施状況に関する事項

#### 1 管理体制の状況

##### (1) 指定管理業務の実施体制図

※別紙1参照

##### (2) 人員配置状況

※別紙2参照

#### 2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

##### (1) 建物・設備の保守管理業務

- ・毎月の安全点検や常時点検で不都合が見つかった場合、業者に連絡して点検・修理などの対応をしている。
- ・空調設備については、年2回業者による点検整備を行っている。また、毎月エアコン周りの掃除をし、フィルターを洗い天日干をしている。
- ・空調設備は暖房と冷房の入れ替え時期に不調を起こしやすいため、常時声掛けをしたり、注意表示をしたりして、共通理解に努めている。
- ・放課後等ディサービス通用門柵が老朽化のため、開閉困難になり、リフォーム業者にて改修した。
- ・幼児訓練室にて、児童が壁を蹴り、壁の表面が凹んだため、社会教育課に報告後、リフォーム業者にて改修した。
- ・幼児訓練室にて、手洗い場前の棚のビスが緩んだため、リフォーム業者にて改修した。
- ・厨房のガス調理器具が老朽化のため、コックに不具合が起り、部品を交換した。
- ・厨房の業務用冷蔵庫に、水漏れ等の不具合が発生しやすくなってしまったので、調理器具業者とメンテナンス契約を行い、定期的な点検を実施している。
- ・「保護者向けの自己評価」の意見とも重なるが、センター保護者会より、中庭に固定遊具設置の要望があった。社会教育課と協議の上、総合遊具を設置した。
- ・今後は、固定遊具や中庭の安全を維持、管理していくため、安全点検表をはじめとして、子ども、職員、保護者が安全に使用できるように、共通認識を図りつつ、体力増強に努めたい。
- ・ホールと厨房が、雨漏りのため、内壁に変色やヒビが生じていたが、社会教育課による改修工事が実施された。
- ・砂場横の倉庫が老朽の為、引き戸の開閉に不具合が生じたので、新品の倉庫を購入、設置した。

## (2) 清掃業務

- ・センター内外の美観を損なわないよう、整理整頓・清掃に努めている。
- ・毎日の掃除…療育終了後、各教室と分担場所の掃除をする。  
    分担…幼児（教室・廊下・幼児用トイレ・指導訓練室⑤）  
    学童（教室・ホール・大人用トイレ・障害者用トイレ）
- ・玄関マットとモップは、契約業者のリースを利用している。
- ・害虫駆除…毎月、契約業者による害虫駆除を実施している。
- ・ごみ回収…毎週火曜日と金曜日に契約業者が回収にくる。
- ・樹木の剪定・草取り…職員・保護者・ボランティアによって、隨時、剪定や草取りをしている。
- ・トイレットペーパー・石鹼等衛生消耗品は適宜補充している。

## (3) 警備業務

- ・鍵の管理を厳重にし、毎日の施錠に注意している。特に玄関は防犯のため二重ロックにしてドアホンを取り付けている。

## (4) 駐車場管理業務

- ・社用車（幼児児童の送迎用）の駐車場所を示すため、コーンを置いている。  
    特に荘内市民センターや荘内幼稚園の行事があるときは、事前に職員や保護者の駐車スペース確保のため、コーンやロープで準備している。

## 3 利用等の許可の状況

- ・国の定めに基づき、障害福祉サービス受給者証による個別契約を行っている。  
    契約後、玉野市に報告している。

## II 施設の利用状況に関する事項

### 1 施設・設備の利用状況

- ・利用許可の総件数、各施設・設備ごとの利用許可（不許可）件数

※毎月のセンター利用状況については、月次報告『利用実績』『実施状況』を参照

## III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

### 1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

#### ①「玉野市児童発達支援センター」（幼児）の行事

月 日	イベント名	内 容	参加者数	備 考
4/ 6 (土)	入園式	入園式	幼児・保護者：49名 (園児21名)	
4/23 (金)	健康診断①	第一回目健康診断	幼児： 21名 のうの小児科	
4/22 (月)	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員 38名	
5/20～25	家庭訪問	家庭訪問（プラン・懇談）	保護者： 22名	
5/14 (金)	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員 38名	

5/30 (木)	親子遠足	親子遠足 (ユーベルキッズランド)	幼児・保護者 38名 職員 9名	
6/5 (水)	歯科健診		幼児： 19名	谷歯科
6/11.12	検尿	岡山健康づくり財団	幼児： 21名	
6/12 (水)	就学勉強会	就学に関する勉強会 (保護者会)	保護者 10名	
6/19 (火)	避難訓練	地震発生想定	幼児・職員： 35名	
6/22 (土)	療育参観日	保護者参観日 ペアレントトレーニング	幼児 21名 保護者23名	
7/2~7/5	夏祭り	縁日遊び		
7/ 6 (土)	自由参観日	たなばたの集い	幼児 21名 保護者 18名	
7/8~8/24	プール療育	プール療育 (水遊び)	幼児： 22名	
7/18 (金)	避難訓練	職員室出火想定	幼児・職員： 35名	(綜合訓練)
8/19 (土)	避難訓練	地震発生想定	幼児・職員： 37名	
9/10~9/15	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 21名	
9/19 (木)	おでかけ①	ぱんだ組	幼児・職員： 18名	
9/26 (木)	おでかけ①	こあら組	幼児・職員： 16名	
9/ 9 (月)	避難訓練	地震発生想定	幼児・職員： 35名	
9/18 (水)	ほっこりコンサート	読み聞かせ・コンサート	幼児・保護者：33名	
10/20 (土)	スポーツ大会	荘内小体育館に於いて	幼児・保護者：78名	
10/16 (水)	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員： 34名	
10/29 ((土))	内科検診	第二回目健康診断	幼児： 20名	のうの内科
10/25 (木)	おでかけ③	ぱんだ組 田井保育園	幼児・職員： 19名	
10/28 (月)	おでかけ④	こあら組 八浜認定保育園	幼児・職員： 16名	
10/26 (土)	芋ほり	中庭のさつまいも畑	幼児 20名	
11/ 6 (水)	おでかけ⑤	ぱんだ組 マリン水族館	幼児・職員： 17名	
11/ 8 (金)	焼芋パーティー	中庭	幼児・職員： 19名	
11/26 (火)	避難訓練	地震	幼児・職員： 36名	
11/19 (火)	おでかけ⑥	こあら組 マリン水族館	幼児・職員： 19名	
11/26 (木)	ミニコンサート	ミニコンサート (研修室)	幼児： 21名	ボランティア:5名
11/11~11/16	給食参観	自由参観	保護者延べ： 24名	
12/2~12/7	個別懇談	懇談	保護者： 21名	
12/20 (金)	避難訓練	厨房出火想定 (煙)	幼児・職員： 34名	
12/19 (木)	クリスマス会	クリスマス会 (大会議室)	幼児：保護者 32名	ボランティア5名
1/10 (土)	もちつき会	もちつき会 (ホール)	幼児： 20名	
1/ 8 (水)	避難訓練	火災発生想定	幼児・職員： 33名	
1/15(水)	食育教室	玉野市栄養改善委員会主催	幼児・保護者 14名 委員・栄養士 9名 職 員 4名	
1/28 (火)	就学に関する研修会	メンターさんをお迎えして (保護者会主催) 座談会	保護者： 11名	

2/ 3 (月)	節分	豆まき	幼児： 20名	
2/10 (土)	入園説明会	入園説明会 (大会議室)	幼児・職員： 18名	園長・責任者
2/ 8 ((土))	避難訓練	厨房出火想定	幼児・職員： 34名	
3/ 3 (火)	ひな祭り会	ひな祭り会 (ホール)	幼児： 20名	
3/10 (火)	避難訓練	職員室出火想定	幼児・職員： 32名	
3/ 7 (土)	入園説明会	新入園児保護者説明会	幼児・保護者： 16名	園長・責任者
3/16~3/21	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 21名	
3/22 (金)	おでかけ⑦	こあら組 ファーマーズ公園	幼児・職員： 16名	
3/18 (水)	おでかけ⑧	ぱんだ組 横田公園	幼児・職員： 17名	
3/28 (土)	卒園・退園式	卒園・退園式	幼児・保護者： 30名	

②「玉野市児童発達支援センター」(学童)の行事

月 日	イ べ ン ト 名	内 容	参 加 者 数	備 考
4/3 (月)	療育開始日	H30 年度療育開始日	児童： 6名	
4/22 (月)	避難訓練	消防計画の確認	職員： 6名	
5/18~5/31	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 55名	
5/30 (木)	避難訓練	職員避難動作の確認	職員： 5名	
6/27 (火)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 10名	
8/21 (水)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 10名	
7/24~8/7	プール活動	プール (センタープール)	児童： 延べ 50名	
8/2~8/8	プール活動	プール (ウルバ-ト灘崎)	児童： 延べ 54名	
8/26~8/31	調理活動	おにぎり	児童 延べ 54名	
8/26 (土)	避難訓練	厨房出火想定	保護者： 26名	
7/20 (土)	勉強会	保護者向け 進学に向けて	保護者： 10名	メルカ 2F
9/10 (金)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 12名	
10/15~10/30	プラン懇談	懇談：評価・プラン	保護者： 54名	
10/11 (金)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 11名	
11/14 (木)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 10名	
12/14 (土)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 12名	
12/21~1/8	おでかけ活動	公共施設利用((ジョイフル)	児童 延べ 53名	
3/4~3/19	プラン懇談 (中止)	評価プラン	保護者： 54名	
3/24 (火)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 12名	
3/25(火)	避難訓練	厨房出火想定	児童・職員： 7名	
3/9~3/14	買物活動	買物活動 (100円ショップ)	児童： 延べ 47名	
2/8 (土)	座談会	保護者向け 支援学級在籍	保護者： 10名	産業振興ビル
2/27(木)	座談会	保護者向け支援学校在籍	保護者： 2名	産業振興ビル
3/28 (土)	療育最終日	31 年度療育最終日	児童： 7名	

## IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

### 1 利用料金の収入及び減免の状況

(1) 利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等      ※非該当

(2) 減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等      ※非該当

### 2 管理に係る収支の状況

(必要に応じ詳細な収支報告書を作成すること)

※別紙3参照

## V 自己点検結果

### 自己点検の方法、結果、改善方法 等

- ・安全点検表で危険個所等について、随時点検や毎月の定期確認を実施した。
- ・職員による整備改善、または業者による修理を実施した。

## VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

莊内市民センターから配布された「経費節減のお願いについて」という文書を全員で確認し、省エネに努めた。

- ・電気代…毎月使用料・金額などを確認し、照明・エアコンの不要な場合は、こまめに消灯したり、張り紙をしたりして全員の関心を高め、省エネに努めた。
- ・水道代…毎月使用料・金額などを確認し、プール使用時期には、注水時、水道の閉め忘れについて注意喚起し、省エネに努めた。

## VII その他

### 1 危機管理マニュアルの見直し

### 2 防災に関する体制整備…『防災計画』・『東南海・南海地震防災規程送付書』の作成

### 3 平成30年7月に発生した西日本豪雨災害を教訓とした「保護者へのお知らせ」「職員へのお知らせ」について見直しを図り『警報発令・自然災害対策について』配付した。

### 4 個人情報管理

- ・幼児児童の個人情報に関するファイル・USB等は、鍵のかかる専用ロッカーに保管している。
- ・個人のプライバシーに関する文書等の作成は、原則としてセンター内で行い、センター外に持ち出さない。

- ・個人情報を他の目的で使用したり、他の目的のために個人情報を収集したりしていない。

### 5 利用者のニーズや要望を把握したり、センターでの取り組みを理解していただいたりするために、以下のことを実施している。

- ・家庭訪問・プラン懇談・参観日・親子療育・勉強会・新入園児保護者説明会
- ・年間行事について保護者にアンケートをとり、考察をまとめて配布している。
- ・担任による毎日の連絡帳や送迎時保護者との話
- ・保護者会・役員会・おやじの会における情報交換・交流活動

## VIII 特記として

センターの開所以来、設備の老朽化による修繕箇所が目立っている。

※別紙4参照（『設備・備品等の修繕・修理（センターにて処置）』）

- ・平成30年度、老朽化による、水道管の破損、3基のエアコンの室外機の圧縮機等故障、厨房のガス瞬間湯沸かし器の等、更新工事を実施したが、他の系統の室外機も老朽化による故障が考えられ、不安は続いている。
- ・室外機については、今後もその他の故障箇所が発見されることは予想されるので、事実が確認できた時には、その都度報告・相談するので対処して頂きたい。
- ・数年の課題であったホールの雨漏り（中庭からの入口）だが、社会教育課より修繕をして頂いた。

## 令和元年 業務分担表

H31.4.1

業 務	内 容	担 当 者	備 考
各種会議	サービス会議		
	職員会議(幼児・放デイ)	全員(幼児・放デイ)	
労務管理	勤務表・出勤簿・休暇届・残業申請書		
職場研修	研修担当		
見学・受入れ	利用児・校園職員・関連機関等見学・受入れ		
苦情処理	苦情処理・ヒヤリハット報告・事故報告		
庶務	職員募集(ハローワーク・「福祉のお仕事」事業所マイページ)		
	事務手続き(採用・退職・福利厚生・証明等)		
	情報管理(文書・パソコン)・諸帳簿管理		
	車両管理		
会計	請求業務		
	利用料集金		
	小口現金		
施設管理	施設修繕		
	環境整備・修繕・清掃		
備品管理	備品一覧表・備品購入		
防災管理	消防計画・安全点検		
	避難訓練(火災・地震・不審者)		
健康・衛生管理	健康管理・健康診断等・害虫駆除・		
	感染症対策		
	ごみ収集・マットモップ交換		
給食	給食会議・献立表作成 食物アレルギー等チェック		
親睦会	親睦会名簿・会計		
涉外	関連機関 ・玉野市役所(福祉政策課・就学前教育課) ・玉野市教育委員会 ・支援学校・小中学校・幼稚園保育園関係 ・玉野市障害者総合支援協議会 ・岡山県社会福祉協議会・岡山県知的障害者福祉協会 ・中四国児童通園施設長連絡協議会 ・その他関連機関等		
保護者会	保護者会・役員会・おやじの会・OB会		

業 務	内 容	担 当 者	備 考
日常療育	週番・清掃・片付け・業務日誌・管理確認簿	各職員	
日常療育	プラン・懇談・(家庭訪問)・個人記録・連絡帳 各種検査・ことばの教室・		
おたより	園だより・各種通信	各職員	
就学相談	就学相談・退園相談		
行事計画・運営	年間行事計画表		
	入園式 4/6(土) 卒園・退園式 3/28(土) 第1回入園説明会2/9(土) 第2回入園説明会3/8(土)		
	親子遠足 5/30(木)		
	療育参観日 6/22(土)	各職員	
	七夕まつり 7/6(土) 保護者自由参加		
	プール 7/9~8/23		
	運動会 10/19(土)		
	自由参観日(給食) 11/11月~11/15(土)	各職員	
	クリスマス会 12/19(木) ミニコンサート 11/28(木)		
	もちつき 1/11(土)		
	発表会 2/15(土)	各職員	
	プール活動:園庭プール(7/22~8/1)夏休み		
	プール活動:ウェルポート(8/2~8/8)夏休み		
	調理活動(8/26~8/31)夏休み		
保育所等訪問	お出かけ活動(12/25~1/7)冬休み		
	買い物活動(3/9~3/14) 春休み		
	保護者座談会(2月頃)		
	支援学校児童保護者勉強会(すきっぷ主 2月頃)		
	進学についての勉強会(じゅんぶ主 7月頃)		
相談支援	保・幼・小・中訪問・校園と情報共有		
	一般相談・計画相談		



## 別紙4

## H31年度 設備・備品等の修繕・修理

黒字…市役所処理 赤字…センター処理  
緑字…その他処理 青字…未処理

月	問 題	処 理			
		場所	処理日	金額	内 容
R1.5/17	空調設備点検(冷暖房の切り替え)	センター		55,000	空調設備点検(冷暖房の切り替え) (株式会社日建)
7/1	通用戸、給食室戸、トイレ カーテンレール不具合のため修繕	センター	7/10	27,000	下電すまいるセンターにて修繕した。
10/15	訓練室の壁を児童が蹴り、ヒビが入った。	センター	10/30	44,000	下電すまいるセンターにて修繕した。
11/19	空調設備点検(冷暖房の切り替え)	センター	11/19	55,000	空調設備点検(冷暖房の切り替え) (株式会社日建)
11/22	放デー通用戸サッシの不具合	センター	11/29	19,800	下電すまいるセンターにて修繕した。
R2.1/17	厨房のガス台のコック不具合	センター	R2. 1/29	12,650	ホシザキにてコックの取り換え
3/18	砂場横の保管庫が老朽のため、引き戸が不具合が発生	センター	3/30	74,000	ホームセンターダイキにて、新品を購入、設置した。
3/27	センター中庭に固定遊具の設置を保護者から要望がある	センター	2/17		ひかりのくににて、購入及び設置をした。
3/27	厨房の冷凍冷蔵庫に不具合が多くなつたと職員からの報告があつた	センター	2/17	39600	ホシザキと保守契約を結ぶ。

## 別紙3

## 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等（令和2年3月期）

## 1 管理に関する収支の状況

## (1) 収入

項目	金額	備考(内訳など)
児童発達支援	69,705,562	4～3月分報酬（福祉介護職員処遇改善加算含む）
放課後等デイサービス	22,507,297	//
保育所等訪問支援	352,608	//
障害児相談支援	16,003,140	
日中一時支援	4,337,100	4～3月分報酬
給食等提供料	2,129,270	
収入合計	115,034,977	

## (2) 支出

項目	金額	備考(内訳など)
給料手当	76,564,596	従業員給料
福利厚生費	551,097	
法定福利費	11,620,687	社会保険料
給食費	9,594,099	食材費及び委託料
保育材料費	1,822,972	画用紙など
日用品費	69,340	洗剤などの日用品
消耗品費	3,100,172	遊具・日用品費以外の消耗品及び食器・配膳用品
修繕費	945,711	施設改修・点検・整備費用
水道光熱費	1,667,282	
通信・交通費	663,336	
リース料	2,716,395	
図書・研修費	687,614	
車両燃料費	573,709	
その他雑費	2,604,391	
支出合計	113,181,401	

収支差額	1,853,576
------	-----------

## 【概要】

例年、新規採用によりスタッフの充実を図っております。  
 新人研修及び既存スタッフへの研修を定期的に実施し、質の向上に努めています。  
 療育用教材（大型遊具・書籍など）の購入を行いました。  
 業務用パソコンなどを購入（消耗による買い替え）を行いました。  
 施設の破損個所の修繕等、維持・管理に努めています。

## 【書式例 5-4】

## 令和元年度 指定管理者自己点検結果

点 檢 日	令和2年3月30日（7回目）
施 設 名	玉野市児童発達支援センター
所 在 地	玉野市用吉1186-1
指 定 管 理 者	名 称 特定非営利活動法人 玉野つつじねっと 代表者 理事長 間庭 佳代子 住 所 玉野市
指 定 期 間	平成30年 4月 1日～平成35年 3月31日（5年間）
担 当	玉野市児童発達支援センター 電 話 0863-71-0600 E-mail tamano-c@apricot.ocn.ne.jp

評価内容の総括	総合評価
<p>・玉野市児童発達支援センター7年目を終え、市内における児童発達支援の拠点として、療育面とともに障害児相談支援も軌道に乗り、教育、福祉関係者はもとより、一般市民にも、当センターの役割や認知度が高まってきたと実感している。</p> <p>・要観察児教室「にじいろ教室」とも連動して、早期の療育体制の流れをより明確にすることができるようになった一方で、31年度は保育園、幼稚園からの移行入所が増加し、連携を密にした。</p> <p>・従来の発達障害支援コーディネーターとの連携もあり、医療、保健、教育等とのつながりを日常的にもちながら、地域において障害児支援の中核として、幼児期から中学生までの義務教育期における支援体制の一応の整備ができた。</p> <p>・障害児相談支援事業においても内容の充実が図れるようになり、市内における障害児支援の拠点としての役割を担っている。</p> <p>・30年度から、利用者及び事業者による「児童発達自己評価委」を実施し、事業所内及びホームページで結果を公表した。評価内容については、幼児、放課後デイ共に概ね「満足度」をみたしていたが、次の2点についての要望が多かった。</p> <p>・1点目は、幼児について、内庭の固定遊具の設置等、屋外活動の充実についての要望に応えて、固定遊具を設置し、屋外活動の充実を図りたいと思う。</p> <p>・2点目は、保育園児や幼稚園児との交流を増やしてほしいという要望に応えて、市内の保育園、幼稚園に出向き、交流を図った。幼児はもとより、保護者からの満足が多く聞かれた。</p> <p>センターに通所していても、常に地域と繋がっていきたいという保護者の心情を理解した。</p> <p>今後も、多面的に地域との連携を図りたい。</p> <p>・療育の質の向上に向けては、法人内での事業所間交流を実施することで、様々な発達段階の利用児の支援方法を学んだり、他の専門機関と連携し、年間を通してテーマに沿った合同勉強会を実施したりしながら、職員の力量アップを図っている。</p>	A

- ・また、安全衛生、個人情報の管理等のしくみをつくり、また虐待防止の観点からも、職員に必要とする研修を行いながら一年間運営してきた。
- ・行事や療育活動の中に、様々なボランティア（絵本・コンサート・清掃など）の協力をいただいているが、31年度から、玉野市栄養改善委員会による「親子食育教室」の開催や、市内の農業生産者からお米の寄付があり、放課後デーサービスの調理活動に利用した。地域との連携、協力が広がっている。
- ・次年度以降、新たな7年間の2年目として、また新たな目標をもって玉野市の児童福祉の拠点としての役割を果たしていきたい。

■ 「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良 好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
<p><b>【適切な施設管理の履行】</b> 協定書に従い、適切に施設管理を行った。</p> <p><b>【法令等の遵守】</b> 法令（児童福祉法、最低基準）を順守して、利用者サービスの向上に努めた。</p> <p><b>【安全性の確保】</b> 職員に対しては、安全意識の教育を行い、環境整備にも努めた。</p> <p><b>【財産の適切な管理】</b> 備品は大切に利用し、遊具等の設備投資は必要に応じて行った。</p> <p><b>【利用状況】</b> 定員は充足し、地域のニーズには十分に対応できた。</p> <p><b>【コスト削減への方策】</b> 職員教育は継続的に行つた。</p>	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園7年目となり、センター内外の環境面も整い、療育活動の幅が広がりを見せている。季節の行事においても計画的に取り組め、満足の声を多くいただいている。</li> <li>・療育に関しては、職員は内外の研修等に参加し、文書報告や伝達講習をする中で職員全体での共有し研鑽に努めている。</li> <li>・特に外部の専門機関との合同勉強会を通して、様々な個別支援の方法や内容についても研修し、個々の子どもの発達及び障害の状況に応じた支援につなげている。</li> <li>・保護者向けの勉強会・おやじの会への参加者が固定され始めたので、活動内容や啓発の仕方について見直しの必要を感じている。</li> <li>・センター保護者会についてはアンケート等により、保護者のニーズの把握に努め、内容、方法の見直しなど活発である。</li> <li>・保護者会の要望から、児童発達支援センターに、「親しみやすい名称」をという要望があった。そこで、玉野つづじねっとの職員、センター利用者（OB）に募集し、「つづじ園」という愛称が命名された。</li> </ul>	A

<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育参観日、自由参観日の他、季節行事への保護者参加も実施して、家族と共に子育てを楽しめるように「子育て支援」としての役割も担えるように努力している。</li> <li>・保育園等の移行を想定した発達評価や移行先との連携、体制づくりへの協力をを行っている。</li> <li>・今後も多様な障害のある利用児の保護者に寄り添い、さまざまなニーズに対応しながらサービス向上に努めていきたい。</li> </ul>	
<b>③ 団体の経営状態（経営の健全性）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の医療機関への通院治療・検査の必要な利用児がいる中で、1名、多疾患病児が、手術前後の通院や、療養があり欠席が多かった。</li> <li>・曜日の関係で年間稼働日数が多くなったこともあり、収支状況は安定的であった。このたび(平成31年)の報酬改定(特に加算関係)における大きな影響は回避できたので不安からは解消された。</li> </ul>	<b>評価結果</b> <b>A</b>

■ 「評価結果」の評価基準

- S (優 良) 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A (良 好) 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B (課題含) 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C (要改善) 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。